

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
タカソエ フシマサ 高添 藤政	男	1922 	韭崎町	韭崎市	『武田勝頼と新府韭崎城』 『伝えておきたい語り草』	歴史・地理 社会科学	郷土史家。 1941年韭崎中学校を卒業。 1943年山梨高等工業学校卒業。同年 陸軍技術少尉に任官しその後、兵器行 政本部兵器研究所に中尉で勤務。1945 年帰郷し果樹栽培に専従。(『武田勝頼 と新府韭崎城』) 果樹栽培に専従するかたわら、韭崎市 教育委員・同農業委員を務める。 韭崎市農協理事、新府土地改良区副理 事長、新府共選場初代場長・韭崎市郷 土研究会初代会長などを務める。 (『伝えておきたい語り草』)	『伝えておきたい語り草』(山梨ふるさと 文庫、2001) 『武田勝頼と新府韭崎城』(山梨ふるさと 文庫、2007)	『伝えておきたい語り草』(山梨ふるさと 文庫、2001、奥付) 『武田勝頼と新府韭崎城』(山梨ふるさと 文庫、2007、奥付)	2024/11/8	韭崎
タカノ ハチロウ 鷹野 八郎	男	1900   1994	甲府市	甲府市	『鍛冶屋語彙』	社会科学 技術 産業	1944年山梨県養豚組合設立、初代会 長となる。 1949年日本種類豚登録協会山梨支部 初代支部長に指名され、山梨県豚の会 長増殖に専念。 1955年山梨県畜産会が設立。専任理 事に就任。 1968年「黄綬褒章」を授与される。 1971年山梨県家畜改良協会、初代会 長に選任。 1974年「勲五等瑞宝章」を授与される。 1981年「紺綬褒章」を授与される。 養豚を始め畜産の振興発展に尽力する とともに、山梨県内の農業および地方 自治関係などの役員並びに各委員会 の要職を歴任し、広い分野で活躍した。 (『鍛冶屋語彙』)	『鍛冶屋語彙』(鷹野八郎、1984)	「鍛冶屋語彙」(鷹野八郎、1984、巻頭 ページ顔写真あり) 「山梨人事興信録」(自治行政調査会、 1991、P383) 「山梨日日新聞 縮刷版1994.3」(P549)	2024/9/23	甲府
タカノ マサナリ 高野 正誠	男	1852   1923	上岩崎村	甲州市	『わたしたちの勝沼町』 『ぶどうの国文化館』	産業	園芸、醸造家。 大日本山梨葡萄酒会社から、1877年10 月フランス・トロワ市に土屋電憲とともに 派遣された。 二人は帰国後、日本で最初のワインを 醸造。これを機に醸造等を学ぶ人々が 勝沼を訪れ、二人の研究成果は日本の ぶどう・ワイン産業の伸展に大きく反映 された。 勝沼町のシンボルマークは、二人のトロ ワ市での姿を採用している。 (『わたしたちの勝沼町』『ぶどうの国文 化館歴史読本』)	『葡萄三説』(秀英舎、1890)	『わたしたちの勝沼町』(勝沼町教育委 員会、2002、p99～103) 『ぶどうの国文化館』(勝沼町、1995、p 49) 『えびかずら』(勝沼町文化協会、1982、 p242) 『勝沼町誌』(勝沼町、p754～758) 『山梨のワイン発達史』(上野晴朗、 1977、p52～) 『明治事物起源事典』(柏書房、1996、p 298～299) 「山梨近代人物館」 <a href="http://www.museum.pref.yamanashi.jp/3rd_jinbutsu/jinbutsu01_takano_masanari.html">http://www.museum.pref.yamanashi.jp/ 3rd_jinbutsu/jinbutsu01_takano_masanar i.html</a> (2024.10.31確認) 「ワインの国山梨   山梨のワインの沿 革史」 <a href="https://wine.or.jp/wine/enkakushi.html">https://wine.or.jp/wine/enkakushi.html</a> (2024.10.31確認)	2024/10/31	勝沼

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ典拠	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
幼ノ ヨシヒコ 高野 賢彦	男	1935   	御坂町	笛吹市	『安芸・若狭武田一族』 『山梨県人物・人材情報リスト 2021』	歴史・地理 文学	著述家。 1935年、御坂町下黒駒生まれ。 1958年、東北大学法学部卒業。 1992年、筑波大学大学院修士課程修 了。 1958年、日本興業銀行入行。以後、中 央信託銀行、興銀カードサービス、ゆり かもめ、阪神清和土地、東洋シャッター に勤務。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』 『甲州・武田一族衰亡史』『安芸・若狭武 田一族』) 2011年、横濱歴史研究会会員(元山梨 郷土研究会会員) (『武田勢 京をめざして』)	『甲州・武田一族衰亡史』(新人物往来 社、2003) 『甲州・武田家の人々』(高野賢彦、 2005) 『安芸・若狭武田一族』(高野賢彦、新 人物往来社、2006) 『武田信玄その死因と卒去地を探る』 (高野賢彦、2006) 『武田勝頼の外祖母その生涯を探る』 (『歴史読本』、新人物往来社、2008年8 月号、p228~232) 『武田勢 京をめざして』(高野賢彦、幻 冬舎メディアコンサルティング、2016) ほか	『甲州・武田一族衰亡史』(新人物往来 社、2003、奥付) 『安芸・若狭武田一族』(新人物往来 社、2006、奥付) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日 外アソシエーツ、2020、P321) 『武田勢 京をめざして』(高野賢彦、幻 冬舎メディアコンサルティング、2016、奥 付)	2024/12/17	御坂
幼ムロ コリュウ 高室 呉龍	男	1899   1983	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト 2023』	文学	俳人。 本名、高室五郎。 『曇母』同人。飯田蛇笏に師事。 1960年曇母賞、1971年山盧賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』)	『曇春』(曇母社、1966) 『鳥影』(三雅房、1978)	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アソシエーツ、2023、p339) 『山梨の文学』(山梨県立文学館1991、p 63)顔写真、短冊あり 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、 2001、p203~205) 『山梨の作家2』(山梨ふるさと文庫、 1995、p227~237)顔写真あり 『資料と研究 第28輯』(山梨県立文学 館、2023、p54~63)	2024/9/21	甲府
幼ヤマ カスユキ 高山 一行	男	1929   2003	身延町	身延町	『身延町誌』 『峡南の郷土』	歴史・地理 社会科学	身延南小学校清子分校、富沢町立万沢 中学校などの教諭を勤める。 峡南郷土研究会理事。郷土研究に功績 を残す。 (『身延町誌』『峡南の郷土』)	『身延町誌』(身延町役場・1970、p1046 ~1054) 『身延参詣記拾遺』(高山一行編、 1976) 『峡南地方の古記録に現われた』『里程 考』 (『峡南の郷土』第20集、峡南郷土研究 会、1980、p49) 『身延町の櫛ヶ沢考』 (『峡南の郷土』第42集、峡南郷土研究 会、2002年3月号) ほか	『身延町誌』(身延町役場・1970、 p1258) 『峡南の郷土』第43号(峡南郷土研究 会、2002、p43)	2024/11/30	身延
タケイ ミキ たけい みき	女	1983   	北杜市	北杜市	『お姫様になれる本』 『山梨日日新聞』	芸術・ス ポーツ	イラストレーター。 日本大学芸術学部放送学科卒業。 『かわいい』プロデューサー。 (『お姫様になれる本』)	『お姫様になれる本』(サンマーク出版、 2015) 『かわいいの魔法にかかる夢色ファンタ ジー塗り絵』(河出書房新社、2016) 『かわいいの魔法にかかる夢色プリンセ ス塗り絵』(河出書房新社、2016) 『ゆめみるおひめさま図鑑』(主婦の友 社、2023) 『ゆめいろさがせブック』(河出書房新 社、2023) 『おかしにくにのゆめいろさがせブック』 (河出書房新社、2024)	『お姫様になれる本』(サンマーク出版、 2015、奥付) 『山梨日日新聞』(2017.4.9、13面、顔写 真あり) 『たけいみきホームページ』 ( <a href="https://takeimiki.jimdofree.com/">https://takeimiki.jimdofree.com/</a> 、 2024.11.25確認)	2024/11/25	竜王

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
タケウチ セイイチ 竹内 精一	男	1928   	上九一色村	富士河口湖町	『上九一色村発オウム2000日戦争富士山麓の戦い』	社会科学	上九一色村富士ヶ嶺地区オウム真理教対策委員会元副委員長、元上九一色村議会議員。 (『上九一色村発オウム2000日戦争富士山麓の戦い』)	『上九一色村発オウム2000日戦争富士山麓の戦い』(KKベストセラーズ、1995)	『上九一色村発オウム2000日戦争富士山麓の戦い』(KKベストセラーズ、1995、奥付)	2024/12/28	富士河口湖
タケウチ テルヨ 竹内 てるよ	女	1904   2001	札幌市	北海道札幌市	『静かなる夜明け』 『大月人物伝』	文学	詩人、児童文学者。 本名、照代。 1929年処女出版詩集『叛く』を、草野心平による贈写版で銅鐘社より発行。 以後、詩集、随筆集、自伝的小説、童話などを発表。 1954年に大月市猿橋町に移住。 以後、療養生活を転々としながら詩作に励む。 新潟市にて死去。 (『静かなる夜明け竹内てるよ詩文集』、 『大月人物伝』)	『花とメノコと』(第二書房、1958) 『海のオルゴール』(家の光協会、1977) 『わが子の類に』(たま出版、2002) 『静かなる夜明け竹内てるよ詩文集』(月曜社、2003) 『美しき時』(オフィスエム、2008) ほか	『静かなる夜明け竹内てるよ詩文集』(月曜社、2003、著者紹介欄、顔写真あり) 『現代女性文学辞典』(東京堂出版、1990、p198~200) 『山梨日日新聞』(2002.10.10、22面) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株式会社、2008、p183~186、顔写真あり)	2024/11/26	大月
タケウチ ナオコ 武内 直子	女	1967   	甲府市	甲府市	『山梨日日新聞』	芸術・スポーツ	漫画家。 甲府一高、共立薬科大学(現・慶應義塾大学)薬学部卒業。 母方の曾祖父に長野で活躍した画家・木下紫水を持つ。 1986年、「なかよし」(講談社)でデビュー。 1992年に連載を開始した、「美少女戦士セーラームーン」が大ヒットする。 同作品で、第17回講談社漫画賞少女部門受賞。 2022年「美少女戦士セーラームーン」の連載開始30周年をむかえる。 (『山梨日日新聞』) (『小説美少女戦士セーラームーン1 青い鳥文庫版』)	『美少女戦士セーラームーン』(講談社、連載終了) 『コードネームはセーラーV』(講談社、連載終了) 『美少女戦士セーラームーンレゾネART WORKS1991~2023』(講談社、2024)	『山梨日日新聞』(1992.3.7、17面顔写真あり、1993.5.18、9面、顔写真あり、2022.7.22.16面) 『おおぼへぬーとちいぼへぬー』(講談社、2005) 『小説美少女戦士セーラームーン1 青い鳥文庫版』(講談社、2018) 『美少女戦士セーラームーン30周年プロジェクト』公式HP <a href="https://sailormoon-official.com/">https://sailormoon-official.com/</a> (2024.9.21確認)	2024/9/21	甲府
タケウチ ユウタロウ 竹内 勇太郎	男	1919   1993	七里村	甲州市	『山梨県人物・人材情報リスト2019』	文学	劇作家、脚本家、小説家。 中学教師を2年、地元新聞記者を5年つとめ、その間演劇専門誌にシナリオを投稿、のちにプロの劇作家となる。この他、テレビドラマの脚本や歴史小説も手がける。 日本脚本家連盟、山文協所属。 日本放送作家協会会員。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』)	『甲府勤番』(東邦出版社、1975) 『小説樋口一葉』(光風社書店、1977) 『伊達政宗』(成美堂出版、1977) 『女侠まんたら』(東出版社、1977) 『山本勘助1~7巻』(学研、1985) 『魔界の忍者』(光風社書店、1989) 『織田信長』(光風社書店、1991) 『甲府勤番帖』(光風社出版、1992) 『千利休』(成美文庫、1996) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、319) 『山梨日日新聞』(1990.7.1、35面、1993.2.15、19面、2000.3.11、15面、顔写真あり)	2025/2/28	塩山
タケタ ケニノブ 武田 邦信	男	1948   	東京都	東京都	韮崎市ホームページ	歴史・地理	武田家宗家第16代当主。 山梨県甲斐の国大使、武田家旧温泉、武田神社崇敬会総務を務める。 (韮崎市ホームページ)		韮崎市ホームページ <a href="https://www.city.nirasaki.lg.jp/material/files/group/4/10-13.pdf">https://www.city.nirasaki.lg.jp/material/files/group/4/10-13.pdf</a> (2025.1.12確認) 『韮崎ムーブ2020』(韮崎市、2020、p16)	2025/1/12	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
タケタ サゼン 竹田 左膳	男	1860   1923	竜岡村	韮崎市	『韮崎市誌』	文学	教育者。 幼少より塾で勉学し長じて徹典館に入り、漢学を専攻。 1877年、小学師範学校を卒業、県下小学校校長を歴任。 後上京して埼玉師範学校、岐阜師範学校等を歴任。 東京府が小学校教員の習字講習を開いた時講師を委嘱される。 (『韮崎市誌』)		『韮崎市誌・下巻』(韮崎市、1979、p439)	2025/1/12	韮崎
タケタ フサヅロウ 武田 千代三郎	男	1867   1932	福岡県	福岡県	『山梨百科事典』 『明治四十年代水害実記』	社会科学	山梨県第16代知事。在任期間1905年9月11日～1908年6月12日。 (『山梨百科事典』) 佛陀寺(石和町)に武田千代三郎撰文の「大災害慰霊碑」がある。 (『明治四十年代水害実記』)	『理論実験競技運動』(博文館、1904) 『明治四十年大水害実記』(長田組土木株式会社、2001)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p589) 『山梨県政五十年誌』(山梨県、1942、p418～419、巻頭口絵に顔写真あり) 『山梨の百年』(NHKサービスセンター甲府支所、1977、p228～229、顔写真あり) 『山梨県人物・人材リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p41,72,592)	2024/11/26	県立
タケナカ エイタロウ 竹中 英太郎	男	1906   1988	福岡県福岡市	福岡県福岡市	『山梨百科事典』 『日本美術年鑑 平成元年版』	芸術・スポーツ	画家、挿絵。 「青少年」を中心に江戸川乱歩、横溝正史、甲賀三郎、夢野久作、大下宇陀児ら当時流行の怪奇小説に挿画を描いた。 1942年に甲府市へ疎開。山梨日日新聞に入社。 (『山梨百科事典』) 雑誌『苦楽』に挿絵見本を持ち込み、1924年大下宇陀児作「盲地獄」の挿絵を発表。山梨日日新聞論説委員長、山梨県地方労働委員会会長を務めた。 (『日本美術年鑑 平成元年版』)	『竹中英太郎1怪奇』皓星社2016 『竹中英太郎2推理』皓星社2016 『竹中英太郎3エロ・クロナンセス』推理』皓星社2016	『夢を吐く絵師～竹内英太郎～』(鈴木義昭著、弦書房、2007) 『山梨日日新聞』(2006.9.15、13面、顔写真あり、2013.5.313面、顔写真と作品画像あり) 『日本美術年鑑 平成元年版』東京国立文化財研究所、1990、p260 『湯村の杜竹中英太郎記念館』 <a href="https://takenaka-kinenkan.jp/">https://takenaka-kinenkan.jp/</a> (2024.9.21確認)	2024/9/21	甲府
タケナカ ツトム 竹中 芳	男	1930   1991	東京都	東京都	『ルポライター事始』	社会科学 芸術・スポーツ	フリールポライター。 竹中英太郎の息子。 (『ルポライター事始』) 12歳で疎開のため家族とともに甲府に移り住む。	『ルポライター事始』(筑摩書房、1999) 『芸能人別帳』(筑摩書房、2001) 『鞍馬天狗のおじさんは』(筑摩書房、1992) 『無頼の点鬼簿』(筑摩書房、2007)	『ルポライター事始』(筑摩書房、1999、カバー) 『山梨日日新聞』(2013.5.313面、顔写真あり、2017.9.1318面、顔写真あり、2022.5.15、5面、顔写真あり)	2022/9/30	甲府
タザイ オサム 太宰 治	男	1909   1948	青森県	青森県	『山梨県人物・人材情報リスト2023』 『山梨百科事典』	文学	小説家。 本名、津島修治。 井伏鱒二に師事。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』) 1938年3～9月にかけて御坂峠の天下茶屋に滞在。 1939年、『富嶽百景』を発表。 1941年、甲府市の石原美和子と結婚し、御崎町(美咲1丁目付近)に居住。 (『山梨百科事典』)	『太宰治全集全13巻』(筑摩書房、1999) 『NO LONGER HUMAN NO LONGER HUMAN OSAMU DAZAI』(東京 チャールズ・イー・タル出版、2023)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p588) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p340～341) 『永遠の太宰治生誕110年記念総特集』(河出書房新社、2019、p206、207)	2024/9/21	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ典拠	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
タシロ タシ 田代 孝	男	1943 	東京都	東京都	『山梨の経塚と廻国納経の研究』 「山梨日日新聞」	歴史・地理	東京都生まれ。國學院大學文学部史学科卒業。1965年から山梨県立高校教諭を14年間勤め、79年から文化財専門職員として県立考古博物館学芸課長、県埋蔵文化財センター次長などを歴任した。山梨県考古学協会名誉会長。2022.6月、郷土研究部門で第46回野口賞受賞。 行政相談業務で功績、総務大臣表彰。(『山梨の経塚と廻国納経の研究』) 「山梨日日新聞」	『日本城郭大系8長野&山梨』(共著新人物往来社1980) 『古代甲斐国の謎』(共著新人物往来社1985) 『おはなし歴史風土記19』(共著岩崎書店1985) 『図説山梨県の歴史』(共著河出書房新社1990) 『山梨の経塚信仰』(山梨日日新聞社出版局、1995) 『山梨の経塚と廻国納経の研究』(田代孝、2022)	『山梨の経塚信仰』(山梨日日新聞社出版局、1995) 『山梨の経塚と廻国納経の研究』(田代孝、2022) 『山梨日日新聞』2022.6.29、14面、2023.10.26、18面	2024/9/14	昭和
タカ ショウ 田中 昭子	女	1943 	春日居町	笛吹市	『四方津はるなつあきふゆ』 『物語と子どもの発達』	図書館・情報 社会科学 文学	元教員。 「たなかしょうこ」名義で絵本執筆。 山梨子どもの本研究会会員。 (『四方津はるなつあきふゆ』) 一般社団法人日本子どもの本研究会 会員。 山梨子どもの本研究会会員。 NPO法人山梨子ども図書館理事。 第一回日本子どもの本研究会実践・研究賞特別賞受賞。 (『物語と子どもの発達』)	『くすのき』(近代文芸社、1995、石和図書館所蔵) 『四方津春夏秋冬』(たなかしょうこ、2000) 『四方津はるなつあきふゆ』(文芸社、2003) 『物語と子どもの発達』(文芸社、2020)	『四方津はるなつあきふゆ』(文芸社、2003、奥付) 『物語と子どもの発達』(文芸社、2020、奥付) 「山梨日日新聞」(2003.11.6、15面)	2024/11/14	春日居
タカ マサヒ 田中 正仁	男	1955 	田富町	中央市	『山梨県人物・人材情報リスト2019』 「山梨日日新聞」	芸術・スポーツ	漫画家。 永井豪に師事。「少年サンデー増刊号」でボクシング漫画「ファイト」(やまさき十三原作)で漫画家デビュー。主な作品に「マニアックス21」、「メタルボーイ」(滝沢解原作)などがある。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』)	『ラジコン教室』(講談社、1982、漫画) 『堀内恒夫』(永島直樹/作、ぎょうせい、1992、画) 『トム・ソーヤの冒険』(マーク・トゥエイン/作、ほるぷ出版、1996、画) 『NHKその時歴史が動いた危機突破編』(ホーム社、2006) 『ビルマの壺琴』(竹山道雄/原作、ホーム社、2010、漫画) 『浅利与一物語』(中央市豊富郷土資料館、2013) 『初代根津嘉一郎の生涯(マンガふるさとの偉人)』(山梨市偉人マンガ製作活用検討委員会/監修、山梨市、山梨市教育委員会、2024、漫画)ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p400) 「山梨日日新聞」(2009.9.6、p4)	2024/11/8	田富

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
タカシ 田中 浜	男	1945 	東京都	東京都	『山梨県人物・人材情報リスト 2015』	芸術・ス ポーツ	1945年東京都生まれ。 舞踊家。学生時代モダンバレエを学び 1973年頃から独自の舞踊へ踏み出しソ ロ活動に入る。東京、パリはじめ内外に 身体気象研究所を開設。 1997年甲斐市敷島に舞踊資源研究所 を設立、2000年から舞踊団および農業 組合法人・桃花村を主宰。 2002年山田洋次監督の時代劇『たそが れ清兵衛』で映画初出演し第26回日本 アカデミー賞助演男優賞を受賞。俳優と しても活躍。映画『隠し剣鬼の爪』、テレ ビ『龍馬伝』などにも出演。(『山梨県人 物・人材情報リスト2011』)(『山梨県人 物・人材情報リスト1015』)	『僕はずっと裸だった』 (工作舎、2011) 『田中浜海やまのあひだ』 (工作舎、2007) 『意身伝心』(春秋社、2013) 『ミニシミテ』(講談社、2024)	『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2010、p253～254) 『山梨県人物・人材情報リスト2015』(日 外アソシエーツ2014、p474) 『メゾンド・ヒミコ』officialPhotoBook』 (平間至撮影、角川書店、2005) 『田中浜海やまのあひだ』 (巻末にプロフィールあり) 『ウミヒコヤマヒコマイヒコ田中浜ダンス ロードインドネシア写真集』 (デザインジム、2007) 『田中浜公式サイト』http://www.min- tanaka.com/(2024.11.27確認) 『ミニシミテ』(講談社、2024、奥付) 『山梨日日新聞』(2024.1.3、24面)	2024/11/28	敷島
タハシ アサコ 棚橋 亜左子	女	1961 	東京都	東京都	『たまごにわとり』 (かがくのとも2018年6月号)	文学	多摩美術大学大学院絵画専攻科修了、 広告代理店に入社。 以後、フリーイラストレーター 1994年頃より童話、絵本の創作。 1997年白州町に移住。 2001.08年ホローニャ国際絵本原画展入 選。 (『たまごにわとり』(かがくのとも2018 年6月号)添付資料)	『たまごにわとり』(かがくのとも2018年 6月号) 『トマト』(かがくのとも2012年5月号) 『あったよ！野山のごちそう』たくさんの ふしぎ2009年6月号)	『たまごにわとり』(かがくのとも2018年 6月号)添付資料	2024/10/23	はくしゅう
タヘ アリヒデ 田辺 有栄	男	1845   1911	塩山市	甲州市	『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト 2011』 『山梨近代人物館』	社会科学	日本の政治家・実業家 山梨の民権運動の指導者 1890年山梨県初の衆議院議員補選事 業に貢献1900年開業の山梨銀行頭取 (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p595) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日 外アソシエーツ、2010、p254) 『山梨近代人物館』2015、p16) 『郷土史にかがやく人々集合編Ⅲ』(青 少年のための山梨県民会議、1987、 p103)	2025/2/28	塩山
タヘ くにオ 田辺 国男	男	1913   2005	塩山市	甲州市	『緑陰閑話』	社会科学	政治家 1936年榊後楽園スタジアム創立 1944年田邊酒造代表取締役就任 1958年衆院選初当選 1967年山梨県知事 1997年勲一等旭日大綬章授章 (『緑陰閑話』)	『緑陰閑話』(田邊国男『緑陰閑話』刊行 会、2001)	『緑陰閑話』(田邊国男『緑陰閑話』刊行 会、2001)	2025/2/28	塩山
タヘ シロウ 田辺 七六	男	1879   1952	塩山市	甲州市	『山梨百科事典』 『田辺七六』	社会科学	1921年富士水電株式会社常務取締役 就任 1924年衆議院議員当選 1939年日本軽金属創立 (『田辺七六』)		『田辺七六』(田辺七六翁頌徳碑建設委 員会、1954) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p594) 『郷土史に輝く人々・集合編』(青少年の ための山梨県民会議、1974、p389～ 404)	2025/2/28	塩山

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
タナヘ 効アキ 田辺 孝明	男	1919   2016	山梨県	山梨県	『戦場を駆けた私の青春』	文学	軍隊入隊 (『戦場を駆けた私の青春』) 元双葉町農業委員 元双葉町議会議員 (『広報ふたば』)	『戦場を駆けた私の青春』(田辺孝明、1987)	『戦場を駆けた私の青春』(田辺孝明、1987、144p～147p)	2024/11/1	双葉
タナヘ リオ 田辺 徳雄	男	1966 	富士吉田市	富士吉田市	『山梨県人物・人材情報リスト2013』 「山梨日日新聞」	芸術・スポーツ	プロ野球コーチ(西武)。吉田高卒業後、1985年ドラフト2位で西武に入団。1989年打率3割を達成、ゴールデングラブ賞受賞。2000年、巨人に移籍し、シーズン終了後引退。2002年西武コーチ。その後、編成部プロ担当を経て、2010年7月二軍打撃コーチ就任。通算成績は1229試合出場、打率268、87本塁打、442打点、60盗塁。ベストナイン2回、ゴールデングラブ賞2回。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』)		『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2013、p583～584) 「山梨日日新聞」(2006.1.6、20面)	2024/12/27	富士吉田
タナヘ ハルミチ 田辺 治道	男	1878   1950	神金村	甲州市	『山梨百科事典』	社会科学	政治家 1927年大阪府知事 1932年満州国参議 1939年逓信大臣 1941年内務大臣 (『山梨百科事典』) 大日本飛行協会会長 (『政治家人名事典』)		『政治家人名事典』(日外アソシエーツ、1990、p327) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p594)	2025/2/28	塩山
タノグチ ユミコ 谷口 由美子	女	1949 	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト2023』	文学	翻訳家。 本名、玉田由美子。 上智大学外国語学部英語学科卒業。在学中、米国セント・メアリーズ・カレッジに留学。卒業後、文部省に勤務する。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』)	『大草原の小さな町』(ローラインガルスワイルダー、谷口由美子訳、岩波書店、2000) 『若草物語』(ウィリアムT.アンダーソン、谷口由美子構成・訳、求竜堂、1992) 『秘密の花園1』(バーネット、谷口由美子訳、講談社2013)	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p342) 「上智大学外国語学部英語学科卒業生の声vol.5」 dept.sophia.ac.jp/fs/english/career/objective/interview/世界を代表する翻訳家/(2024.9.21確認)	2024/9/21	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
タハラ トシヒコ 田原 俊彦	男	1961 	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト 2023』	芸術・ス ポーツ	歌手・俳優。 甲府工業高校1年のときからジャニーズ 事務所のレッスンに通い、上京後ドラマ 「3年B組金八先生」(TBS系)でデ ビュー。'たのきんトリオ'と呼ばれ一躍 人気アイドルとなる。1994年独立し、個 人事務所を設立。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』)	『君だけマイラブ』(ワニブックス、1981) 『とびっきり危険(デンジャー)』(集英社、 1986) 『職業＝田原俊彦』(ロングセラーズ、 2009)	『山梨県人物・人材情報リスト2023』 (日外アソシエーツ、2022、p508～509、 p535～536) 『山梨日日新聞』(2009.1.12～3.30毎週 月曜(全11回)連載「トシちゃんの足跡」 に掲載、2016.9.17、15面、顔写真あり、 2024.7.19、13面、顔写真あり) 『田原俊彦論』(青弓社、2018) 『田原俊彦オフィシャルサイト』 <a href="https://toshihikotahara.com/">https://toshihikotahara.com/</a> (2024.9.21 確認) 『田原俊彦オフィシャルYou Tubeチャン ネル』 <a href="https://www.youtube.com/channel/UC&lt;br/&gt;WGGH0RiCoz3FZbdTGk6yxQ">https://www.youtube.com/channel/UC WGGH0RiCoz3FZbdTGk6yxQ</a> (2024.9.21 確認) 『田原トシちゃんねる』 <a href="https://www.youtube.com/channel/UC&lt;br/&gt;opq2w7PPKEyvBPXg7QOBOg">https://www.youtube.com/channel/UC opq2w7PPKEyvBPXg7QOBOg</a> (2024.9.21確認)	2024/9/21	甲府
タマキ エミ 玉木 えみ	女	1990 	上野原町	上野原市	『少女系きのご図鑑』 (DUBOOKS)	自然科学・ 医学 文学	東京工芸大学芸術学部マンガ学科卒 業イラストレーター(『増殖・少女系き のご図鑑』)	『少女系きのご図鑑』(DUBOOKS、2012) 『増殖・少女系きのご図鑑イラスト集2』 (DUBOOKS、2014) 『きのご文学ワンダーランド』 (DUBOOKS、2013)	『少女系きのご図鑑』(DUBOOKS、2012)	2024/11/12	上野原
タムラ イソウ 田村 恰与造	男	1854   1903	中尾村	笛吹市	『山梨百科事典』	社会科学	軍人(陸軍参謀次長)。 (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p601) 『山梨「人物」博物館』(江宮隆之編著、 丸山学芸図書、1992、p122～123) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アソシエーツ、2022、p91) 『知謀の人田村恰与造』(篠原昌人著、 光人社、1977、顔写真あり) 『図説・明治の群像296』(学研、2003、 p52、陸軍時写真あり) 『日露戦争陰の主役田村恰与造伝』(相 沢邦衛著、山梨ふるさと文庫、2004) 『幕末・明治初期の国際環境』(相澤邦 衛著、猫町文庫、2010、p59～60) 『田村恰与造と森鷗外』(相沢邦衛著、 文芸社、2020) 『消された名参謀・田村將軍の真実』(石 井邦男著、水曜社、2022)	2024/11/15	一宮

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
クサガ ショウサク 丹沢 正作	男	1876   1926	上野村	市川三郷町	『山の先生・丹沢正作』 『郷土史にかがやく人々』第10集 『山梨百科事典』	哲学・宗教 文学	1898年、市川教会で洗礼を受ける。 1902年、東京専門学校(早稲田大学)を 卒業後帰郷。 1906年、平民学校を設立。 1907年、伝道師となり、静岡等で布教す る。 1918年、市川教会日曜学校長となる。 「山の家」を設立、徳富蘆花などが訪れ た。町内に「山の家」(復元)と「山の先 生の碑」がある。 (『山の先生・丹沢正作』、『郷土史にか がやく人々』第10集)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1972、p604) 『郷土史にかがやく人々』第10集(青少 年のための県会議、1978、p95～ 131) 『山の先生・丹沢正作』(清水威著、山 梨ふるさと文庫、1985) 『遺徳顕彰建立記念誌山の先生』(山の 先生遺徳顕彰会、1978) 『甲斐路』30号(山梨郷土研究会、 1977、p62～75) 『甲斐路』32号(山梨郷土研究会、 1978、p30～43) 『甲斐路』33号(山梨郷土研究会、 1978、p22～31) 『晴耕雨読』(サンニテ印刷、2008年 Spring6号、p59～61)	2024/11/29	市川三郷
クジ タニ 丹治 匠	男	1974   	福島県	福島県	『かあかあもうもう』 『山梨日日新聞』	芸術・ス ポーツ 文学	絵本作家。映画美術監督。 2013年北杜市明野町に移住 東京藝術大学美術学部絵画科卒業。新 海誠監督のアニメーション映画作品に て美術監督を務めるほか、さまざまな映 像美術にたずさわる。参加作品に、『秒 速5センチメートル』『るろうに剣心』『八 重の桜』『ギャラクシー街道』『真田丸』 『精霊の守り人』他多数。絵本作品に、 『はなちゃんのぼうし』(『かあかあもう もう』) 映画「君の名は。」の美術監督。アニ メーション映画の美術や実写映画のイ メージボード製作を担当。絵本作家とし ても活動。(『山梨日日新聞』)	『はなちゃんのぼうし』(こぐま社、2014、 奥付) 『かあかあもうもう』(こぐま社、2016、奥 付) ほか	『はなちゃんのぼうし』(こぐま社、2014) 『かあかあもうもう』(こぐま社、2016) 『山梨日日新聞』(2016.10.3、21面、顔 写真あり)	2025/1/29	明野
チノ リンゾウ 千野 林蔵	男	1830   1899	竜岡村	韮崎市	『峡北地方物故文化人物集』	社会科学	文化人。 1869年、郡中惣代。 1878年、北巨摩郡長。 (『峡北地方物故文化人物集』)		『峡北地方物故文化人集』(1961、p91)	2025/1/12	韮崎
チハ チョウサク 千葉 長作	男	1861   1935	大須成村	身延町	『日本人名大事典』 『山梨県剣道史』	芸術・ス ポーツ	山岡鉄舟の道場にて7年学ぶ。 1907年、矢吹中将与共に日本武道会を 創立。 1913年、千葉周作の武門を継ぐ。 靖国神社の奉納試合を創始し、出場77 回。 (『日本人名大事典』) 中富町大塩生まれ。本名、地場長作。 防弾チョッキの発明者。 (『山梨県剣道史』)	『日本武道教範』(博文堂、1908) 『武道教訓』(日高有倫堂、1911) 『国民剣道教範』(富田文陽堂、1916) 『武道教範』(『明治武道史史料』収録、 新人物往来社、1971) 『国民剣道教範』(『近代剣道名著大系』 第3巻収録、堂朋社出版、1986)	『日本人名大事典4』(平凡社、1979、p 255) 『山梨県剣道史』(山梨県剣道連盟、 1977、p71) 『山梨の剣道』(山梨県剣道連盟、 2004、p71) 『西島の今昔』(深沢喜一、1970、p107) 『山梨日日新聞』(2010.6.25/26面)	2024/11/30	身延

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
チュウ ヒロユキ 忠 裕之	男	1954 	東京	東京	『もう一度、ハッピーになった車 いす犬たちの物語』	産業	1954年東京生まれ。犬用車いすを年間 300台以上作成。 2012年会社を早期退職し、車いす作り に専念。 2013年テレビで紹介され、反響を呼ぶ。 2015年から白州町在住 (『もう一度、ハッピーになった車いす犬 たちの物語』)	『もう一度、ハッピーになった車いす犬た ちの物語』(光文社、2014)	『もう一度、ハッピーになった車いす犬た ちの物語』(光文社、2014) 「山梨日日新聞」(週刊こびっと 2020.12.104面) 「アドワークス」 <a href="https://adworks.com/">https://adworks.com/</a> (2024.10.23確認)	2024/10/23	はくしゅう
ツカハラ ヒトシ 塚原 等	男	1856   1922	西条村	昭和町	『山梨百科事典』	社会科学 文学	「甲府新聞」に入り「峡中新報」の編集 者となりその後、「初音新聞」「山梨民 報」の創立など山梨県内の新聞界で活 躍が知られた。号を梅の家馨といい、の ちに三菊と改め、俳諧、和歌をよくし「峡 中俳家十句集」「岡廼舎歌集」などを編 んだ。また1919年9月創立された私立山 梨盲院の創立者で、その後身である 私立山梨盲啞学校長ともなった。 (『山梨百科事典』)		『山梨県教育百年史第2巻—大正昭和 前期編』(山梨県教育委員会、1978、 P462～465) 『手話・言語・コミュニケーションNo.7』 (日本手話研究所、2019、p44～45) 『特殊教育百年記念誌』(特殊教育百年 記念山梨県協賛会、1978、p39) 『山梨県立ろう学校創立80周年記念 誌』(山梨県立ろう学校、2002、p47、 49) 『昭和村誌』(1958、p732～734) 『昭和町誌』(1990、p396) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p620)	2024/9/14	昭和
ツカハラ ヨウウン 塚原 羊雲	男	1931 	竜王町	甲斐市	『古希の駅』	文学	山梨大学卒業。 山梨県公立中学校教諭。 旧竜王町南部公民館長、山梨県公民館 連絡協議会副会長。 (『古希の駅』)	『青雲』(塚原羊雲、1989) 『校長366日』(近代文芸社、1992) 『もぐらのたわごと』(山梨新報社、 1994) 『古希の駅』(塚原羊雲、2001) 『喜寿の坂』(塚原羊雲、2008) 『野良の道』(塚原羊雲、2012)	『古希の駅』(塚原羊雲、2001、奥付) 「山梨日日新聞」(2012.4.25、18面)	2024/11/25	竜王
ツカハラ ヨシムラ 塚原 美村	男	1916   2009	高根町	北社市	『山梨日日新聞縮刷版』	文学	元教員。 南アルプス市寺部在住。 中部文学、山人会、日本歴史学会、日 本ベンクラブなどに所属 (『山梨日日新聞縮刷版』)	『行商人の生活』(雄山閣、1970) 『金印惑伝』(創樹社、1997) 『半伴虜』(甲陽書房、1989) 『金銀細工師の生活』(雄山閣、1973) 『未解放部落』(雄山閣、1967)	『山梨日日新聞縮刷版』(1996.12.22、8 面、顔写真あり。2009.2.6、22面、追悼 記事)	2024/10/30	わかかさ

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ典拠	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ツジ クニオ 辻 邦生	男	1925   1999	東京市 (東京都)	東京都	『作家・小説家人名事典』 『昭和文学全集第24巻』 『辻邦生全集全20巻』 『山梨県人物・人材情報リスト 2023』	文学	小説家。 春日居村国府で代々医者を営む家柄 で、明治40年(1907年)笛吹川の大洪水 により一家で上京したため、東京で生ま れる。 原籍地は山梨県東山梨郡春日居村国 府三七四。 1944年に旧制松本高校に入学、在学中 に北社夫と知り合う。1949年東京大学 仏文科に進み、渡辺一夫に師事する。 1956年に学習院大学講師となり、1957 年に渡辺。帰国後、「近代文学」に長編 『廻廊にて』を執筆し、文壇デビュー。同 作品で第4回近代文学賞を受賞。1966 年立教大学助教授に就任し、東京農工 大学教授を経て、1975年学習院大学教 授に就任。 1968年『安土往還記』で芸術選奨新人 賞を、1972年『背教者ユリアス』で毎 日芸術賞を受賞。小説、戯曲、評論と幅 広く活躍した。 (『作家・小説家人名事典』、『昭和文学 全集第24巻』、『日本近代文学大事 典』、『明治・大正・昭和作家研究大事 典』、『山梨県人物・人材情報リスト 2023』)	『国境の白い山』(中央公論社、1984) 『銀杏散りやまず』(新潮社、1989) 『西行花伝』(新潮社、1995) 『若き日の友情』(新潮社、2010) 『十二の肖像画による十二の物語』 (PHPエディターズ・グループ、2015) 『夏の岩』(小学館、2016) 『物語の海へ』(中央公論新社、2019) 『辻邦生全集全20巻』(新潮社、2004～ 2006) 『時の扉上・下』(小学館、2020) ほか	『作家・小説家人名事典』(日外アソシ エーツ、2002、p484) 『昭和文学全集第24巻』(小学館、 1988、p1143～1146) 『日本近代文学大事典』(講談社、 1984、p945～946) 『明治・大正・昭和作家研究大事典』(桜 楓社、1992、p358～359) 『辻邦生永遠のアルカディアへ』(中央 公論新社、2019) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アソシエーツ、2022、p344～345)	2024/11/14	春日居
ツジ シンタロウ 辻 信太郎	男	1927   	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト 2023』 『サンリオ出版大全』	社会科学 産業 文学	作家。サンリオ創業者。 サンリオ代表取締役会長。 甲府中(現甲府一高)を卒業後、1947年 に桐生工専化学工業科(現群馬大学工 学部)を卒業。 1949年、山梨県庁に入る。 1960年、山梨シルクセンターを株式会 社として独立。 1969年、サンリオグリーティングを設 立。 1973年、サンリオと改称し、同年サンリ オグリーティングと合併。 映画製作や、出版も手掛け、サンリオ ピューロランド(東京)やハーモニーラン ドなどのテーマパーク事業も展開する。 1976年に出資・協力したドキュメンタ リー映画『愛のファミリー』がアカデミー 賞ドキュメンタリー賞を受賞している。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』) 第2回野口賞(芸術・文化)受賞 2020年6月、社長職を退任 2022年3月、サンリオ代表取締役会長を 退任、同社名誉会長に就任 (「山梨日日新聞」)	『くるみわり人形』(サンリオ、1979) 『メルヘン集』(サンリオ、1990) 『これがサンリオの秘密です。』(扶桑 社、2003) 『森のメルヘン』(サンリオ、2005) 『湖のメルヘン』(サンリオ、2008) 『シリウスの伝説』(サンリオ、2009) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アソシエーツ、2022、p146～147、p 346～347) 『YAMANASHIEIWA130thThehistoryof2 009-2019』(山梨英和学院、2019、活躍 する卒業生) 「山梨日日新聞」(1992.3.31、12面、顔 写真あり、2020.6.13、26面、顔写真あり 、2020.6.13、26面、顔写真あり、 2022.3.16、6面、顔写真あり、2024.1.3、 29面、顔写真あり) 『サンリオ出版大全』(慶應義塾大学出 版会、2024、p224～247) 「Sanrio」( <a href="https://www.sanrio.co.jp/">https://www.sanrio.co.jp/</a> 、 2024.9.21確認)	2024/9/21	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ典拠	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ツシマ ミチコ 津島 美知子	女	1912   1997	島根県	島根県	『山梨日日新聞』 『太宰治展』	文学	島根県那賀郡浜田町生まれ。旧姓石原美知子、石原初太郎の四女。甲府高等女学校(現甲府西高等学校)、東京女子高等師範学校(現お茶の水女子大)卒業。 1933年県立都留高等女学校(現都留高等学校)に勤務。 1939年太宰治と結婚。	『回想の太宰治』 (人文書院、1978)	『山梨日日新聞』 (1997.2.2、23面、1997.2.12、8面、顔写真あり) 『太宰治展』 (山梨県立文学館、2005)	2024/11/28	敷島
ツシムラ ミツキ 辻村 深月	女	1980   	石和町	笛吹市	『山梨県人物・人材情報リスト2023』 『山梨日日新聞』	文学	小説家。 2004年『冷たい校舎の時は止まる』が第31回メフィスト賞受賞。 2011年『ツナグ』が第32回吉川英治文学新人賞受賞。 2012年『鍵のない夢をみる』が第147回直木賞受賞。 2018年『かがみの孤城』が第15回本屋大賞受賞。 (『山梨県人物・人材リスト2023』) (『山梨日日新聞』)	『冷たい校舎の時は止まる』(講談社、2004) 『子どもたちは夜と遊ぶ』(講談社、2005) 『ほくのメジャースプーン』(講談社、2006) 『スロウハイツの神様』(講談社、2007) 『ツナグ』(新潮社、2010) 『鍵のない夢をみる』(文芸春秋、2012) 『かがみの孤城』(ポプラ社、2017) 『嘘つきジェンガ』(文芸春秋、2022) 『この夏の星を見る』(KADOKAWA、2023) ほか	『山梨日日新聞』(2006.5.17、11面、顔写真あり、2009.1.8、11面、顔写真あり、2012.7.19、17面、顔写真あり、2018.10.17、28面、写真あり、2019.12.19.13面、写真あり、2022.11.15、22面写真あり、2023.7.1、45面、顔写真あり、2024.9.3、1面、顔写真あり) 『山梨県人物・人材リスト2023』(『日外アソシエーツ』2022、p349～350) 『Another side of 辻村深月』(角川書店、2023)	2024/11/26	県立
ツチハン リキ 土橋 里木	男	1905   1998	上九一色村	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト2004』 『東八メモリーズこんな人がいた。』 『山梨日日新聞』	社会科学	郷土研究家。本名、力。 (『山梨日日新聞』) 1977年第1回野口二郎賞(現野口賞)受賞。 峡南郷土研究会会長、日本民俗学会名譽会員、山梨郷土研究会名譽会員。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』)	『甲斐昔話集』(郷土研究社、1930) 『富士北麓昔話集』(山梨民俗の会、1957) 『甲斐伝説集』(山梨民俗の会、1953) 『わらべ唄研究ノート』(山梨ふるさと文庫、1987) 『山村夜譚』(近代文芸社、1993) 『補屋の敗走譚』(『峡南郷土史集』1集、峡南郷土研究会、p6～9) 『芦川のカラサンについて』(『民俗手帖』1号、山梨民俗の会、p9～11) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2004』(『日外アソシエーツ』2003、p245) 『東八メモリーズこんな人がいた。』(東八代広域行政事務組合、2002、p161～172) 『峡南の郷土』第39集(峡南郷土研究会、1999、p40～41) 『甲斐路』94号(山梨郷土研究会、1999、p61～62) 『山梨日日新聞』(1989.11.28、14面、写真あり、1998.11.26、23面、顔写真あり、1998.12.1、9面、写真あり、1999.11.30、12面、2000.1.28、10面、写真あり)	2024/11/26	県立

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ツチャ タツ川 土屋 竜憲 (リュウケン)	男	1859   1940	勝沼町	甲州市	『わたしたちの勝沼町』 『ぶどうの国文化館』	産業	園芸、醸造家。 大日本山梨葡萄酒会社から、1877年10月フランス・トロワ市に高野正誠とともに派遣された。 二人は帰国後、日本で最初のワインを醸造した。竜憲(助次郎)の作った葡萄酒貯蔵庫「竜憲セラー」は現在、国登録文化財。 勝沼町のシンボルマークは、二人のトロワ市での姿を採用している。 (『わたしたちの勝沼町』『ぶどうの国文化館』)		『わたしたちの勝沼町』(勝沼町教育委員会、2002、p99~103) 『ぶどうの国文化館』(勝沼町、1995、p49) 『えびかずら』(勝沼町文化協会、1982、p242) 『勝沼町誌』(勝沼町、p754~758)『山梨のワイン発達史』(上野晴朗、1977、p52~、p106~)『明治事物起源事典』(柏書房、1996、p298~299)『郷土史にかがやく人びと集合編』(社団法人青少年育成山梨県民会議、1999、p313~334) 「山梨近代人物館」 <a href="http://www.museum.pref.yamanashi.jp/3rd_jinbutsu/jinbutsu01_takano_masanari.html">http://www.museum.pref.yamanashi.jp/3rd_jinbutsu/jinbutsu01_takano_masanari.html</a> (2024.10.31確認) 『ワインの国山梨   山梨のワインの沿革史』 <a href="https://wine.or.jp/wine/enkakushi.html">https://wine.or.jp/wine/enkakushi.html</a> (2024.10.31確認)	2024/10/31	勝沼
ツチャ ブンメイ 土屋 文明	男	1890   1990	群馬県	群馬県	『富士北麓と文人たち』	文学	歌人。 中学校卒業後、伊藤左千夫の家に寄宿。東京帝国大学卒業。大学時、芥川龍之介、久米正雄らと第3次「新思潮」同人となる。 1924年、木曾中学校長に発令されるも退職、伊古語法政大学予科・明治大学教授等、教職の傍ら、「アララギ」に拠り、編集、発行名義人、選歌を担当、現在の「アララギ」を育て、その総帥として日本歌壇の最高峰に立つ。 長男、夏實の富士吉田在職以降、家族の任地として入麓。富士吉田市の桂川畔に立っている、正岡子規の「やまめの歌碑」の建立者である柏木白雨の強い要望により、碑文揮毫を担当した。 (『富士北麓と文人たち』)	『万葉集私注 新装版 1~6』(筑摩書房、1982) 『万葉紀行「正」』(筑摩書房、1983) 『万葉紀行 続』(筑摩書房、1983) 『新短歌入門 大活字本シリーズ』(埼玉福祉会、1994) ほか	『富士北麓と文人たち』(ぎょうせい、1986、p160~173)	2024/12/27	富士吉田
ツチャ ヤスマロ 土屋 靖麿	男	1924   2009	玉穂町	中央市	『ふるさとたまほ』 『私の人生旅日記』	歴史・地理	1971年~1979年、玉穂村議会議員 (『玉穂町誌』)	『ふるさとたまほ地名篇附地図』(土屋靖麿、1992) 『ふる里歳時記』(土屋靖麿、1999) 『アゼ道をゆく』(土屋靖麿、2004) 『私の人生旅日記』(土屋靖麿、2006) 『ふるさと四方山話』(土屋靖麿、2008)	『ふるさとたまほ』(土屋靖麿、1992) 『私の人生旅日記』(土屋靖麿、2006) 『玉穂町誌』(玉穂町、1997、p1317~1318) 「山梨日日新聞」(2000.4.7、17面)	2024/11/8	玉穂
ツチャ ヨシオ 土屋 嘉男	男	1948   2017	塩山市	甲州市	『山梨県人物・人材情報リスト2011』 『実施報告書』	芸術・スポーツ	太宰治の勧めで俳優となる。 黒沢明作品に数多く出演。 2011年山梨文学シネマアワード受賞 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』)	『クロサワさん!黒沢明との素晴らしき日々』(新潮社1999) 『魚はゆらゆらと空を見る』(新潮社2002) 『思い出株式会社』(清水書院1993) 『思い出株式会社続』(清水書院2009)	『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2011、p275) 『実施報告書』(塩山市制施行四十周年記念事業塩山市企画課、1995) 山梨日日新聞2011.10.26.20面 2003.07.275面 中日新聞2009.08.1531面	2025/2/28	塩山

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ツナキ リュウミョウ 綱脇 龍妙	男	1876   1970	福岡県 宗像郡	福岡県 宗像市	『山梨百科事典』 『身延町誌』 『我深く汝等を敬ふ』	哲学・宗教 社会科学	福岡県法性寺にて得度。 1906年、身延山参詣し、多くのハンセン 病患者に会う。同年10月、日本初の民 間ハンセン病療養所「身延深敬園」を創 立。 1951年、山梨県社会福祉協議会の初 代会長を務める。 65年に亘る活動に、皇室などから恩賞 殊遇を受ける。 山梨県県政功労、文化功労者。藍綬褒 章、正5位勲3等瑞宝章など褒章多数。 身延町最初の名誉町民。 (『山梨百科事典』『身延町誌』『我深く汝 等を敬ふ』)	『綱脇龍妙遺稿集』(綱脇美智、1976) 『我深く汝等を敬ふ綱脇龍妙自伝』(綱 脇直美、2008)	『身延町誌』(身延町誌編纂委員会編、 身延町役場、1970、p1180) 『山梨県史資料編16』(山梨県、1998、 p954~963) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞、 1989、p626) 『もう一つのハンセン病史』(医療文化 社、2005) 『ハンセン病の療養所をつくったお坊さ ん』(ルック、2006) 『読売新聞』(2000.8.3/32面) 『山梨新報』(2000.11.17/8面) 『山梨日日新聞』(1999.4.4/23面、 2004.2.2/11面、2018.1.24/18面) 『日蓮宗ポータルサイト内、法華経に支 えられた人々』 <a href="http://www.nichiren.or.jp/">http://www.nichiren.or.jp/</a> (2024.11.30 確認)	2024/11/30	身延
ツルタ ヤスシ 鶴田 泰	男	1970   	塩山市	甲州市	『山梨県人物・人材情報リスト 2011』	芸術・ス ポーツ	元プロ野球選手 中日ドラゴンズ 広島東洋カープ 中日ドラゴンズ打撃投手 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』)		『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日 外アソシエーツ、2010、p277-278) 『プロ野球ドラフト全史2012』(ベース ボール・マガジン社、2012、p61) 『週刊ベースボール54(45)』(ベース ボールマガジン社、1999、p56) 『スポーツグラフィックナンバー14』 (Number編集部、文藝春秋、1993、 p52-53) 『スポーツニッポン新聞』1999.04.09、3 面 『朝日新聞』1999.04.09、19面 『日刊スポーツ』1993.05.09、2面 ほか	2025/2/28	塩山
テツカ コウ 手塚 豪	男	1905   2004	白根町	南アルプス市	『西郡史談』 『山梨日日新聞』	歴史・地理	教員。 『白根町誌』(1969) 『増穂町誌』(1977) 編纂 1978年勲四等瑞宝賞受賞。 (『西郡史談』)	『中巨摩郡地名誌』(中巨摩郡文化協会 連絡協議会、1988) 『西郡史談』(手塚豪、1993) ほか	『西郡史談』(手塚豪、1993) 『山梨日日新聞』(2004.11.29、16面)	2024/10/4	白根
テツカ トシオ 手塚 寿男	男	1917   	大和村	甲州市	『近世甲斐の史的研究』	歴史・地理	山梨郷土会常任理事 (『近世甲斐の史的研究』)	『郡内機業の起源に関する殖産興業説 の再確認』(著者出版、1957、山梨県立 図書館所蔵) 『近世甲斐の史的研究』(山梨日日新 聞、1984 奥付) 『郷土史事典山梨県』(昌平社、1978 奥付) 『大和村誌』(大和村役場、1996) ほか	『近世甲斐の史的研究』(山梨日日新 聞、1984 奥付) 『郷土史事典山梨県』(昌平社、1978 奥付)	2024/10/31	大和
テツカ ノブオ 手塚 信夫	男	1940   	大和村	甲州市	『中日恩讐の盟友』	歴史・地理	新明和工業(株)取締役大阪事業部長 大和村青年婦人友好訪中視察団団長 (『中日恩讐の盟友』)	『中日恩讐の盟友』(文芸社、2002)	『中日恩讐の盟友』(文芸社、2002 奥 付)	2024/10/31	大和

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
テラダ シゲオ 寺田 重雄	男	1901   1992	甲府市	甲府市	『甲州魚風土記』 『山梨日日新聞』	社会科学 文学	郷土研究者。 元山梨日日新聞社編集局長、元山梨文 芸会会長。 (『甲州魚風土記』)	『甲州魚風土記』(芸文社、1980) 『甲斐の魚』(山梨県水産研究会、 1955) 『山梨文芸、代表作品集昭和24年度 版』(山梨県芸術祭事務局、1949)	『甲州魚風土記』(芸文社、1980、奥付) 『山梨日日新聞』(1998.9.5、17面、顔写 真あり、1999.12.2、10面、顔写真あり)	2024/9/22	甲府
デンガリョウ 田我流	男	1982   	一宮町	笛吹市	Mary Joy Recordingsホームペー ジ 『山梨日日新聞』	芸術・ス ポーツ	一宮町を拠点に活動するラップ・アー ティスト。2011年に公開された富田克也 監督の映画「サウダーチ」で主演を務め たことをきっかけに名前が広がり、2012 年4月に発表したアルバム「B級映画の ように2」でその評価を確固たるものに する。 (Mary Joy Recordingsホームページ) (『山梨日日新聞』)	CDアルバム「作品集～JUST～」(桃源 響RECORDS、2008) CDアルバム「B級映画のように2」 (MaryJoyRecordings、2012) CDアルバム「RideOnTime」 (MaryJoyRecordings、2019.) DVD「B級TOUR-日本編-」 (MaryJoyRecordings、2013) ほか	Mary Joy Recordingsホームページ <a href="http://www.maryjoy.net/artists/dengaryu.html">http://www.maryjoy.net/artists/dengaryu.html</a> (2024/11/13確認) 『ヒップホップの詩人たち』(都築響一 著、新潮社、2013)(p23～60:「だからタ トゥーのように音に痛みを乗せる」田我 流/述) 『山梨日日新聞』(2012.6.4、12面、顔写 真あり、2013.7.2、1面、顔写真あり、 2013.7.9、13面、顔写真あり、 2020.12.2、16面、顔写真あり)	2024/11/15	一宮
トオヤマ セイイ 遠山 正瑛	男	1906   2004	富士吉田市	富士吉田市	『山梨県人物・人材情報リスト 2013』	産業	農学博士、鳥取大学名誉教授、日本沙 漠緑化実践協会会長。京都帝大農学部 卒。1979年以来、度々中国西域・シルク ロードを訪れ、砂地農法による緑化の 技術指導に尽力。1985年、沙漠開発研 究所を、1991年日本沙漠化実践協会を 設立。2003年、マグサイサイ賞(平和・ 国際理解部門)受賞。富士吉田市名誉 市民(1997年)。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』)	『よみがえれ地球の緑』(佼成出版社、 1989) 『沙漠緑化に命をかけて』(TBSブリタニ カ、1992)	『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日 外アソシエーツ、2013、p292～293)	2024/12/27	富士吉田
トガミ ヒロ 戸上 寛子	女	1935   	大和村	甲州市	『白いノスタルジア』	文学	日本詩人クラブ (『箱根慕情』)	『白いノスタルジア』(VAN書房、1979) 『箱根慕情』(朝日アートコミュニケー ション、2002) 『美術画報』No.34(朝日アートコミュニ ケーション、2002) 『御所車』(VAN書房、1984)ほか	『白いノスタルジア』(VAN書房、1979 奥付) 『箱根慕情』(朝日アートコミュニケー ション、2002 奥付) 『美術画報』No.34(朝日アートコミュニ ケーション、2002 p234～243)	2024/10/31	大和
トウワ リイチ 外川 理一	男	1900   1989	小立村	富士河口湖町	『富士山麓近世農民生活史』 『河口湖町広報ふるさと』	歴史・地理	豊島師範(現東京学芸大)卒。八王子尋 常小学校教諭、会計検査院判任官、小 立村助役、県古文書審査員、妙法寺文 書調査員、河口湖町文化財審議委員、 山梨郷土研究会会員。 (『富士山麓近世農民生活史』)	『富士山麓近世農民生活史』(地人社、 1987) 『妙法寺史録抄』(じべた書房、1982) 雑誌「富士を守る」、「二十一日会」に論 文多数	『河口湖町広報ふるさと』(1989年6月 号)	2024/12/28	富士河口湖

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
トクナガ スミコ 徳永 寿美子	女	1888   1970	山梨市	山梨市	『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト 2023』	文学	童話作家。 本名、前田ひさの。 1967年、勲五等瑞宝賞受賞。 1935年創刊の「児童文学」で活躍。 (『山梨百科事典』) 成蹊学園機関誌「母と子」に童話を寄せた。最初の童話集は「薔薇の踊子」。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』) 6歳の時に一家で東京に移り住み、結婚後童話を執筆したり、日本の昔話や外国の物語をわかりやすく書き改めて紹介することにつとめた。 (山梨日日新聞)	『おかあさんのおひざ』(三十書房、1953) 『うさぎのたねまき』(むさし書房、1950) 『うさぎのせんたくや』(金の星社、1966) ほか	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p662) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p173~174) 『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』(山梨県立文学館、1999、p18~20) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p354) 『山梨日日新聞』(2000.11.7、9面顔写真あり、2002.10.1、30面顔写真あり)	2024/9/22	甲府
トバシ ジジウ 土橋 治重	男	1909   1993	山梨市	山梨市	『山梨県人物・人材情報リスト 2017』 『山梨の作家1』	文学	詩人、歴史作家。 1924年、旧制日川中学3年のとき、父親のいるサンフランシスコに渡る。 1939年朝日新聞社入社。 1949年「日本未来派」に詩を発表し詩人としてスタート。 1961年詩誌「風」を創刊。 1992年『根』で日本詩人クラブ賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2017』 『山梨の作家1』)	『馬』(国文社、1955、山梨県立図書館所蔵) 『武田武士の系譜』(新人物往来社、1972) 『武田信玄』(新人物往来社、1978) 『日本の愛の詩』(理論社、1979) 『『甲陽軍艦』を読む』(三笠書房、1987) 『小説武田信玄』(青樹社、1982) 『土橋治重詩全集』(土曜美術社出版販売、1995) ほか	『山梨の作家1』(山梨ふるさと文庫、1994、p135~141) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p321~323) 『山梨県人物・人材情報リスト2017』(日外アソシエーツ、2016、p327)	2024/11/24	山梨
トミカ ケイメイ 富岡 敬明	男	1822   1909	佐賀県	佐賀県	『郷土史にかがやく人々第11集』 『山梨百科事典』	社会科学 文学	山梨県権参事。 明治初年の県令土肥実匡、藤村紫朗を実質的に補佐。 日野春開拓により、北杜市長坂町に富岡の地名を残す。 山梨県の漢詩壇の嚆矢。 (『山梨百科事典』)	『双松山房詩史』(富岡春雄、1899)	『郷土史にかがやく人々第11集』(青少年のための山梨県民会議、1981、p27-50) 『小説富岡敬明』(甲陽書房、1979) 『長坂町誌(下)』(長坂町、1990、p157-159) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p667)	2024/11/1	ながさか